

日光医療センター通信

～いろは～



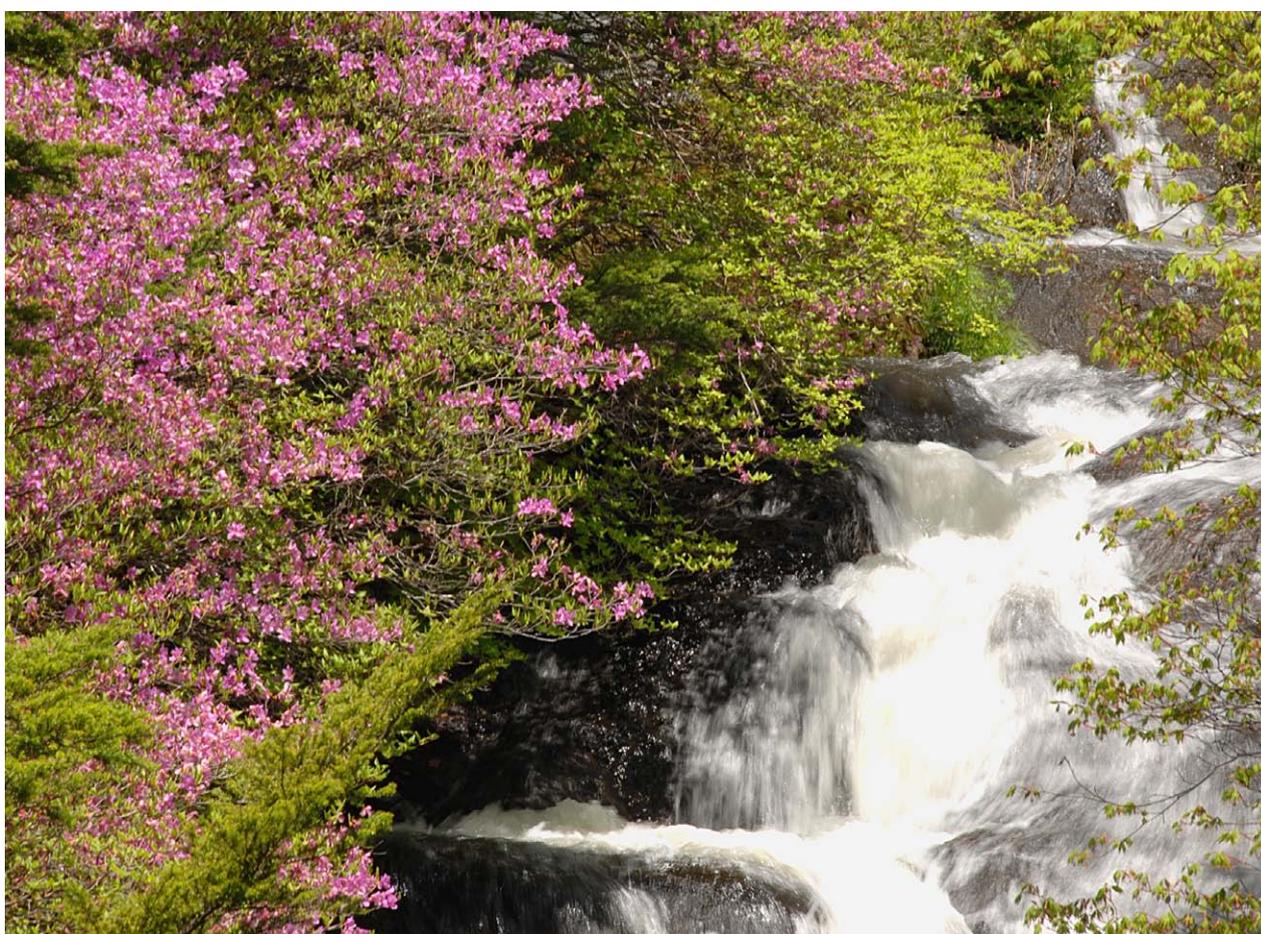
獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第

51

号

2025.6



龍頭ノ滝とツツジ（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（膠原病・アレルギー内科）	2
部門紹介（放射線部）	3
外来担当医一覧	4
連携医療機関認定病院紹介	5
求人情報／編集後記	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 膠原病・アレルギー内科

標榜名である、膠原病とアレルギーは、とくに膠原病の方は、一般の方には、捉えどころがなく、イメージが難しい、実際誤解の多い疾患なのです。そもそも膠原病という名の独立した疾病がない、という処から多くに理解が及んでいないでしょう。それは共通の特徴を有する疾患のグループ名なのです。この中でもっとも知られている病名はリウマチでしょう。正式名は関節リウマチです。最近のニュースでは、一昨年の暮に亡くなった歌手の八代亜紀さんの病名、急速進行性の間質性肺炎の原因である、皮膚筋炎も膠原病なのです。

先に挙げた共通の特徴とは、「自己免疫」(本来免疫は、病原体など体内に侵入すれば有害となるものに対して防衛力を発揮するものなのですが、これが、自身の正常な働きをしている身体に向けて攻撃をしかける異常のことをいいます。)による、ということであり、さらに「全身性」の自己免疫疾患ということになります。この病気が特定の臓器に限定されないということも、とらえどころのない理由にもなっていると思います。そして、アレルギーも含めての共通項としては、「免疫の異常」ということになるでしょうか。

またそれぞれ、しばしば誤解のある事柄としては、例えば、“アレルギーの原因は検査で分かる”とか、“リウマチ反応とか、膠原病の検査(多くは自己抗体を調べる検査)が陽性であれば膠原病になっている”とか、がありますが、必ずしもそうではなく、検査結果だけでは診断はつかないし、むしろ検査が陽性でも、診断は異なることさえしばしばあります。(できるだけ)正確な診断のために専門家がいると思ってください。

正しい診断がなければ正しい治療へ導けないことはお分かりになっていただけたと思います。

まだお話ししたい内容は多々ありますが、紙面の都合上、最後に、リウマチなどの膠原病は、昔は治らない病気でしたが、最近新しい治療法の開発が急速に進んできており、少しずつ治る希望の光が見えてきています。私達もすでに(やや高価にはなりますが、)この新しい治療法も取り入れて治療を行っております。

まだスタッフ数は少なく、表に大きな科の看板を掲げておりませんが、呼吸器内科の中で一緒に診療をしております。ご相談、診療希望の方は呼吸器内科へどうぞお声がけください。



部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶放射線部

放射線部は、診療放射線技師（13名）・看護師（9名）・事務員（2名）で構成され、エックス線撮影検査（一般撮影装置2台、透視装置2台、外科用イメージ3台、血管撮影装置2台）・CT検査（CT装置2台）・MRI検査（MRI装置1台）・マンモグラフィ検査（マンモグラフィ装置1台）・骨密度測定（骨密度装置1台）をチーム医療の中で協力しながら行っています。病院移転時、AI（人工知能）を利用した新しい技術を用いたCT装置を導入し、被ばく線量の低減・画質の向上・撮影時間の短縮が実現され、患者様へより良い検査を受けていただいております。

当センターは日光地域の基幹病院であり、二次救急指定病院としても日光地域の医療を担っています。また、地域医療の連携を目的とした日光ヘルスケアネットにも参加し、医療機器の共同利用も行っています。その一例として、放射線部では、CT検査によって心臓の血管の状態を検査するCT-CAG検査を行っており、日帰りの検査で血管が狭窄や閉塞を起こしていないかが分かります。もし狭窄や閉塞が確認された場合は、カテーテルと呼ばれる細い管を使用した「経皮的冠動脈形成術（PCI）」の治療を行います。エックス線透視下で血管の状態を見ながらカテーテルを挿入し、バルーンと呼ばれる風船で細くなった血管を拡張させ、ステントと呼ばれる筒状の器具を血管に留置することで血流を改善させる治療法です。日光地域では唯一当センターのみでこのカテーテルによる検査や治療を行っており、地域に大きく貢献することができています。

地域の開業医の先生方には、ぜひ日光ヘルスケアネットを通じた医療機器の共同利用を実践していただき、住み慣れた地域で安心した暮らしが続けていけるよう住民ニーズに応えていきましょう。



連携医療機関認定病院紹介 ～ 十全会 上野病院 院長 上野 泰彦 ～

当院は、JR宇都宮駅西口から徒歩10分ほどの町中に位置し、天神様（菅原道真公）をお祀りしている菅原神社がある宇都宮市天神という地にあります。

病院の機能としては、急性期治療後に長期療養を必要とする患者様を中心にお受入れをしている、103床の療養型病院です。昭和26年（1951年）に法人を設立し、以来この宇都宮の地で地域医療の一端を担うべく、病院を運営して参りました。



現在は従来の内科外来、入院診療に加え、皮膚科、美容皮膚科にも力を入れております。

私は平成29年（2017年）に父の跡を継ぎ、当院の病院長に就任しましたが、それ以前は獨協医科大学病院の循環器・腎臓内科で診療に励んでおりました。研修医時代には日光医療センターで実習していたこともあり、当時高徳にあった旧医療センターでは大変お世話になりました。

当時の忙しくも充実した日々の経験が今でも思い出され、改めて自分の医師としての土台を作ってくれたものと深く感謝しております。

宇都宮と日光ということで病院同士の距離は離れていますが、患者様ご本人は日光在住で、ご家族が宇都宮在住の為、宇都宮市内で転院先を探しているというご家族の相談を受けることも多くあります。父も私も妻も獨協医科大学卒ということもあり、本学ならびに日光医療センターとも連携を深めながら長期療養が必要な患者様が安心して医療を受けられる環境を提供することで、地域医療に貢献していきたいと考えております。これからどうぞよろしくお願いいたします。





当センターと一緒に働いてみませんか？

医師事務作業補助者 募集中 (パートタイム)

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288-23-7000 (内線 3204)

編集後記

日光医療センターの病院広報誌をご覧ください、ありがとうございます。春の暖かさが感じられる4月、桜が美しく咲き誇り、新たなスタートの季節が訪れました。暖かな陽気とともに、病院でも新しいスタッフの加入があり、患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう、スタッフ一同心を新たにしています。今号では、診療科の紹介やスタッフの取り組み、関連病院についてご紹介しました。これからも地域の皆様に信頼される病院を目指して、日々努力してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。(T.T)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第51号

〒321-1298 栃木県日光市森友145-1 TEL 0288-23-7000(代表) FAX 0288-23-5000

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>

発行年月/令和7年6月

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター
広報・マーケティング委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<https://www.dokkyomed.ac.jp/>

[nmc/recruit-nurse/](https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/)

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

